

かみす社協ニュース

発行 社会福祉神栖市社会福祉協議会事務局(神栖市溝口1746-1) TEL 0299-93-0294(代表) FAX 0299-92-8750(代表)
ホームページ <http://www.kamisushakyo.com> メールアドレス mail@kamisushakyo.com

《報告》第7期発達障害療育者研修会 -全課程修了者は21名-



平成26年11月20日～平成27年1月15日に開催した「第7期発達障害療育者研修会(全5回講座)」には、市内の保育士や幼稚園、障害児支援事業所職員の参加があり、今期は21名が全課程を修了しました。

この研修会は、発達障害の知識と特性の理解を深め、幼稚園や保育園内での生活といった集団場面での支援のポイントを学ぶことを目的として、平成17年度から開催しています。

第6期までの修了者を含めると、223名が本研修を修了しています。

受講者の感想を一部ご紹介します

- ・とても勉強になりました。新しい知識を得るだけでなく、新たな視点を持つことができ、明日への意欲にもつながったように感じます。“一番困っているのは本人”という言葉が心に残りました。困った子として見ていくのではなく、その子に合った支援が出来るように向き合っていきたいと思います。(幼稚園教諭)
- ・発達障害児の特性や支援のポイントについて、とてもわかりやすい内容の研修だったと思います。私自身、知識の面であったり、理解の部分がまだまだ未熟で、知らないことがたくさんあることに気づきました。実際の事例を目の当たりにし、様々な人の意見、見方なども聞くことが出来てとても良かったです。講師の方に質問、相談をさせていただき、気になっていたクラスの子への関わり方の参考にもなりました。(幼稚園教諭)
- ・事例を挙げての講義が多かった為、私が今まで経験してきた事例に当てはめて考えることができました。職場ではその場で子どもの様子を見て、状況を理解し、対応しなくてはいけないので、先生方に教えていただいた基本をもとに、子どもたちの今後を見据えた支援をしていきたいと思っています。(障害児支援事業所職員)

この研修会は、実践経験豊富な講師の協力により開催しました。講義終了後は、受講者の個別の相談や質問に応じる場になりました。講師と受講者が“出会って、つながり合える”ことも、この研修会の成果のひとつと考えています。

今後も、発達障害のあるご本人やご家族が安心して暮らせる環境となるように、多くの専門職の皆さんと共に“理解と支援の輪”を広げる取り組みを展開していきます。



■第7期研修会にご協力頂いた講師のみなさん

- 大野真裕 氏【茨城県発達障害者支援センター センター長・臨床心理士】
- 根本浩則 氏【茨城西南医療センター病院 リハビリテーション部 作業療法士】
- 菊池春樹 氏【東京成徳大学 応用心理学部臨床心理学科 助教・精神保健福祉士】
- 佐藤奈美 氏【公益財団法人鹿島病院 精神科医 医師】

※研修会の報告はホームページ (<http://www.kamisushakyo.com>) に掲載しています。

かみす社協ニュースは皆様から寄せられた会費を使用して発行しています

平成26年度神栖市社会福祉協議会会長表彰・感謝

2月21日(土)、神栖市保健・福祉会館にて神栖市社会福祉協議会福祉感謝会を開催し、神栖市内で社会福祉活動の分野において功績があった個人16名、3団体が表彰されました。式典終了後、映画「ペコロスの母に会いに行く」を記念上映しました。受賞された皆様、おめでとうございます。多くの皆様のご来場、まことにありがとうございました。(順不同、敬称略)

神栖市社会福祉協議会 会長表彰

社会福祉団体の役員 在職期間10年以上で現職の方
 野村 貴美子 神栖市母子寡婦福祉会
 加藤 昭徳 神栖市身体障害者福祉協議会
 長谷川 利高 神栖市身体障害者福祉協議会

社会福祉施設の役員 在職期間10年以上で現職の方
 千葉 和裕 波崎ひかり保育園



社会福祉施設の職員 年齢40歳以上で現職であり、在職期間10年以上の方

柴 真記子	波崎ひかり保育園	高橋 典子	特別養護老人ホームマリンピア神栖
飯島 智子	平泉保育園	天満 恵子	特別養護老人ホームマリンピア神栖
鈴木 加奈子	萬徳寺保育園	木内 久子	特別養護老人ホームマリンピア神栖
平山 なおみ	神栖市立うずも保育所	高橋 よし枝	特別養護老人ホームマリンピア神栖
石川 清恵	神栖市立大野原保育所		

社会福祉の進展に大きく寄与(ボランティア) 活動期間が3年以上で、現在も活動する個人又は団体

押切 勝	仲條 清	仲條 京子
家庭倫理の会コスモス	保育サポーターひよこ	

神栖市社会福祉協議会 会長感謝 共同募金会を除く県内の社会福祉団体または社会福祉施設に総額50万円以上の寄付をされた方

JFE条鋼株式会社鹿島製造所

第206回 地域ネットワーク勉強会のお知らせ

ストレスマネジメント講座 ～心の整え方～



3月26日(木)
午後7時～午後9時
保健・福祉会館 2階 研修室
参加費無料・申込み不要

講師:宮内厚季 氏 ハートマップガーデン代表

一般社団法人日本産業カウンセラー協会所属 産業カウンセラー

NPO法人メンタルサポートアカデミー認定心理カウンセラー及び認定講師

平成27年12月より従業員数50名以上の事業者に対し、年1回のストレスチェックが労働安全衛生法の改正を受け義務化となりました。背景には、依然として高水準にある自殺者の推移(平成25年発表では27,283人)や、働く人々の精神的な問題が社会問題として取り扱われているということでもあり「心の健康づくり」が急務となっていることがあります。「心の問題」を考える上では、上記の「ストレスチェックの義務化」が示すように、現代社会において問題と言われているストレスに関心を持ち、ストレスの基礎知識を学び、自分なりの取り組みを行うこともまた重要なことであると考えます。

今回の勉強会ではストレスとは何かという基礎知識をはじめ、「心を整える」をテーマに自分自身の性格や思考の傾向についても考えながら、ストレスとの「付き合い方」や「向き合い方」について学んでみようと考えます。人事異動や就職・進学など新たな環境変化が起こるこの季節は新鮮さもありますが、ストレスのかかる機会も多くなります。ぜひこの機会にストレスや、その対処について学んでみましょう。

お問合せ先 電話:0299-93-0294 神栖本所 地域福祉推進センター 担当:三浦

私たちのまちの福祉施設

NPO法人
カシマ
KASHIMAアディクションサポートセンター

このシリーズは、神栖市内にある障害者福祉施設の活動取材を通じて市民の皆さんにお伝えすることを目的に、毎月1か所ずつご紹介しています。

KASHIMAアディクションサポートセンターは、鹿島ダルク(平成12年に開設した薬物依存症からの回復をはかる民間のリハビリテーション施設)により、より地域に密着した活動を展開しようと平成18年10月に設立されたNPO法人で、障害者総合支援法に基づくグループホーム、計画相談支援と併せ、市内の自警活動を実施しています。

鹿島ダルク設立当初からの代表である山本喜代彦さんにお話を伺いました。

グループホーム……地域で少人数の共同生活の場と日常生活の支援をします。
計画相談支援……障害(児)者の抱える課題解決に向けて、福祉サービスの利用調整をします。

グループホームについて

定員は6名です。主な目標は、①生活習慣を身に付け、②薬物に依存することのない日常生活の喜びを感じ、③働く意欲を高め、自立した生活を送ってもらうことです。日中はアルバイト等の就労をしたり、回復プログラムに沿って外出したりと、利用者の活動はそれぞれです。一人ひとりを尊重し、日常生活を楽しめるように支援しています。社会復帰には、仲間同士の連帯感や集団に属することで生まれる責任感を持つことが重要と考えています。そのため朝と夕方、利用者スタッフが集まってミーティングを必ず行います。これは、仲間と相談しあえる場を設けることで孤立を防ぎ、何でも打ち明けストレスを溜めない習慣を身に付けるためでもあります。

社会復帰を目指して

当センターの利用者は、必要な治療を医療機関で受け、薬物に頼らない社会生活を取り戻そうと決意した方たちです。実際、毎年数名の利用者が就職し、社会復帰が実現しています。今年には鹿島ダルク設立15年目の節目となります。就労への意欲をより高められるように、施設内で就労支援を行う就労継続支援B型事業の年内運営開始を目指しています。

社会貢献活動

薬物は本人の心身を壊すだけでなく、家族や社会に対しても様々な問題を引き起こします。自分たちと同じ過ちをおかさないよう、実体験にもとづく講演活動を積極的に行い“薬物を絶対に使用しない、させない”地域づくりを進めています。また、毎週金曜日と土曜日には市内の夜回りパトロールを自主的に実施しています。特に、若者が集まるコンビニやゲームセンター、祭り等が開かれている場所を重点的に回り、気になる人には声をかけるようにしています。「今後も地域の理解と企業の協力を得ながら、一人でも多くの利用者が社会復帰できるようにサポートしていきたい」と支援への熱い気持ちを語ってくださいました。

身近な地域で開催！3月のわくわくサロン・子育てサロン

ふれあいサロンめだか	3/1(日) 新港公民館	わくわくサロン知手団地	3/9(月) 東町区民館
わくわくサロンはさき	3/2(月) 仲町区民館	わくわくサロンにこにこ	3/10(火) 日川公民館
友愛サロン	3/2(月) 溝口集落センター	平泉わくわくサロン	3/10(火) 平泉コミセン
ほっとサロン	3/3(火) 大野原児童館	わくわくサロンすこやか	3/12(木) はさき福祉センター
わくわくサロン知手浜	3/6(金) 知手浜公民館	なごみ会	3/14(土) 高浜公民館
わくわくサロンあけぼの	3/6(金) 知手中央仲町公民館	わくわくサロン松原	3/23(月) 若ノ松区民会館
わくわくサロン大潮	3/7(土) 明神前区民館		
ティータイム	3/7(土) はさき生涯学習センター	子育てふれあい広場ひよこ	2/19(木) 市保健・福祉会館

サロンは、家に閉じこもりがちな地域の高齢者や障害者、子育て中の親子などが身近な場所に集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。

☆お問い合わせは 神栖市社協 神栖本所 0299-93-0294(担当：下田) 波崎支所 0479-48-0294(担当：横田)まで



【事業所データ】
名称：NPO法人 KASHIMAアディクションサポートセンター
住所：神栖市神栖1-6-26
電話：0299-93-5507
FAX：0299-93-5508

介護機器貸出...春の行楽や通院などにお使い下さい！

ケガや病気などで一時的に介護機器が必要になった方や、通院や外出で車いすが短期間必要になった方へ、車いすや松葉杖などの介護機器を無料で貸し出しています。貸出期間は、2週間以内です。

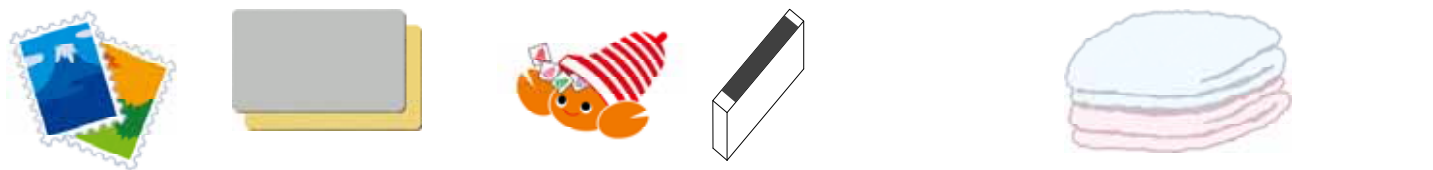


問合せ
社協神栖本所(溝口1746-1)
電話：0299-93-0294 担当：名雪
社協波崎支所(土合本町3-9809-158)
電話：0479-48-0294 担当：坂本

つ も る 善 意 1/1~1/31受付 順不同・敬称略

<p>●寄付金預託 合計24,491円</p> <p>●社協の地域福祉活動へ</p> <p>太田新町シニアクラブ 20,148円 伊藤ストア 4,343円</p>	<p>●使用済切手 合計13,431枚</p> <p>三国屋建設(株) 3枚 栄興業(株)鹿島営業所 3枚 東仲島東仲よし会 3枚 鹿島サンケン(株) 3枚 鹿島石油(株)鹿島製油所 3枚 鹿島特別支援学校PTA神栖・波崎支部 3枚 神栖法律事務所 弁護士 安重洋介 3枚 鹿島北共同発電(株) (株)幸徳 3枚</p>	<p>●その他</p> <p>三国屋建設(株)(書き損じハガキ61枚、タオル20本、カレンダー17本) 町田尚武(描き損じハガキ59枚) 高浪工務店(描き損じハガキ29枚) 鹿島北共同発電(株)(手帳74冊、カレンダー197本) 東仲島東仲よし会(使用済インクカートリッジ6個) 鹿島特別支援学校PTA神栖・波崎支部(使用済インクカートリッジ8個) 太田新町行政区(使用済インクカートリッジ4本) 匿名12件(タオル38本、米8kg、カレンダー3本、使用済インクカートリッジ56個、書き損じハガキ30枚、紙おむつ、未使用ハガキ398枚、エンシュアリキッド、ボールペン20本、わくわくサロンにこにこへ竹笛20個)</p>
<p>●物品預託</p> <p>●ベルマーク</p> <p>三国屋建設(株) 徳増康弘 山いち 長谷川自動車(株) 大久保愛子 児玉勝 鹿島特別支援学校PTA神栖・波崎支部 鹿島石油(株)鹿島製油所 匿名2件</p>	<p>●使用済カード 合計145枚</p> <p>匿名2件</p>	

毎月たくさん寄せられる寄付物品は、このように活用されます



<p>使用済切手 使用済カード</p> <p>使用済切手、使用済みカードは茨城県社会福祉協議会(水戸市)に集められ、ボランティアによって仕分けされます。仕分けされた切手・カードをコレクターが購入し、その収益が県内のボランティアサークルの活動助成に充てられます。</p>	<p>ベルマーク 使用済インクカートリッジ</p> <p>神栖市社協に寄せられたベルマークは、ボランティアによって仕分け、集計がされます。平成26年7月には東日本大震災の被災校の教材や備品購入のために17,000点(1点=1円)がベルマーク教育助成財団に贈られました。使用済インクカートリッジは1つにつき5点で集計ができます。※エブリン、キヤノン、ブラザーの純正品に限ります。</p>	<p>タオル</p> <p>お寄せいただいた未使用タオルは、神栖市内の障害者施設に払い出され、生産活動で活用されます。タオルは雑巾や手芸品に加工され販売されます。その売り上げが工賃となって施設利用者に配分されます。</p>
---	---	--



多大な寄付をありがとうございます(JFE条鋼(株)鹿島製造所様)

2月19日(木)、JFE条鋼(株)鹿島製造所様から、神栖市社協にポータブルワイヤレスPAシステム一式を寄贈していただきました。
同製造所様からは、これまで大型スクリーン一式(平成25年1月)、液晶プロジェクター(平成26年2月)をご寄贈いただいております。2月21日に開催した神栖市社協福祉感謝会では、ご厚意に対し感謝状を贈らせていただきました。

沢田知行製造所長(写真左)に、保立一男社協会長から善意の証が手渡されました